

奥州市議選 5人の候補者決定

民報

おうしゅう

読者版

発行
赤旗奥州出張所
水沢大手町三丁目59
Tel 24-2021
Fax 24-2049

5人の候補者

今野 裕文さん(現職)
千葉 敦さん(現職)
瀬川 貞清さん(現職)
佐藤 美雪さん(現職)
千田美津子さん(元職)

なお、菅原明さん(現職)は体調不良につき、
今期をもって勇退となります。

日本共産党奥州市委員会は、1月5日記者会見を行い、3月1日告示3月8日投票で行われる奥州市議会議員選挙において、5人の候補者擁立を発表しました。

まず、日本共産党中部地区平田地区委員長が5人の候補者名を読み上げました。

今野裕文市議団長は、議員団を代表し、次のように決意を述べました。

新医療センターを 早急に

市政の最大課題は、総合水沢病院の建て替え問題だと考えております。倉成市長の下、「新医療センター構想」が打ち出さ

れています。総合水沢病院の老朽化、耐震性の問題を早急に解消するために早期の実現が必要だと考えております。

旧町村の医療施設の 維持を

旧町村にある市立病院・診療所の存続を求める声にこたえながら、地域医療の中の重篤でない救急への、在宅医療、看取りなどに対応できる仕組みを構築、維持すべきと考えております。

5議席確保の必要性

そのためには、議席を減らすわけにはいきません。国政上でも高市政権と対峙し、軍拡一辺倒の政治を改めさせ、消費税減税を求めていくためにも、現有5議席を確保する必要があると考えています。



決定した5人の候補者

いのち・くらし・生業を 守るために力尽くす

5議席を維持し、今後も、クマ対策、気候危機の問題、負担の大きい国民健康保険料、介護保険料や利用料、「子育て3つのゼロ」(医療費無料の継続、保育料の完全無償化、学校給食費の無償化)、高齢者の3つの安心」(特養ホーム待機者の解消、加齢性難聴者への補聴器購入支援、高齢者世帯へのエアコン設置の支援)など、いのち・くらしそして生業を守る施策の充実のために力を尽くしたいと考えています。

一般質問 続報

財政調整基金の活用で 高すぎる国保税の引き下げを

瀬川貞清議員は、最初に、財政調整基金を取り崩して国民健康保険税の引き下げを行うことを求めました。

国保税水準統一の 取り組みのため難しい

倉成淳市長は「国保税水準の完全統一をめざす過程において納付金ベースの統一が今年度から始まっており、歳入は被保険者の減少により国保税収入は減少する見込みであり、今後、収支不足が拡大していく。この現状では基金を活用し税率引き下

げは難しいと判断している」と述べました。

続いて瀬川議員は、子育て世帯の負担軽減のため、子どもの均等割りの減免制度創設を求めました。

子どもの均等割の減免制度、令和9年4月に高校生まで対象拡大へ

―国が検討

倉成市長は「子どもの均等割軽減の必要性は理解するところであるが、国が責任をもって制度化すべき施策と考えるので、引き続き全国市長会を通じて国に要望していく」と述べました。

担当者は「新聞等によれば、国は高校生までの対象拡大を令和9年4月の実施をめざして検討している」と述べました。



瀬川貞清議員

日本共産党奥州市議団が一貫して要望

国保税における子どもの均等割減免制度の対象拡大(現在、就学前の子どもに対し2分の1減免、これを高校生まで拡大)

国保税にのってきた課題であり、その努力が結実する見通しとなりました。

日本共産党市議団は、引き続き高校生までの均等割の全額免除を要求し、実現に向けて努力していきます。

日本共産党奥州市議団が一貫して要望し、実現に向けて努力していきます。